

番号	31 - 23	申請者	看護師 増田 優子
<p>【審査申請課題】</p> <p>慢性呼吸器疾患患者のアドバンスケアプランニングについての現状と課題</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>A病棟において終末期にある慢性呼吸器疾患の患者に関して、長期にわたり急性増悪を繰り返しながら徐々に進行し、予後の予測が難しく、本人や家族もターミナル時期であるという認識が薄く、急性増悪の事態になったときに患者本人が望む医療及びケアについてその意思決定を確認できないまま、家族に意思確認を行うことがある。アドバンスケアプランニングとは、将来の変化に備え将来の医療およびケアについて患者を主体にその家族や近しい人、医療ケアチームが繰り返し話し合いを行い、患者の意思決定を支援するプロセスのことである。患者の人生観や価値観、希望に沿った将来の医療及びケアを具体化し、患者が意思を伝えられる時からその意思を共有することが重要である。がん患者に対する意思決定支援という研究は多くあるが、慢性呼吸器疾患患者の終末期に対する意思決定に関する研究は少ない。急性増悪を繰り返す患者や家族は、意思決定支援についてどのように考えられているかを検討し、患者が自ら意思決定する事を支援する看護について検討したいと考えた。</p>			
審査結果	承認 (令和1年9月24日)		